

所属・氏名（薬学部薬学科 氏名：中島正光）

著書、学術論文等の名称	単著共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
1 (学術論文) Kampo Medicine in Modern Medicine ～The Features of Kampo Medicine in Modern Medicine～	共著 筆頭	2022年11月	Traditional & Kampo Medicine	第一回国際シンポジウムで述べられた現代における日本漢方の概要、特徴、そして中医学との違いなどについて英文雑誌の Traditional & Kampo Medicine に記載したものである。
2 (著書) 漢方医学大全	共著	2022年11月	静風社	日本東洋医学会漢方医学書籍編纂委員会として編集および著者となり執筆している、漢方の著書である。著名な著者により記載された詳しい内容で、571 ページに及ぶ内容の濃いものとなっている。
3 (学術論文) 麻黄湯が新型コロナワクチン接種後の強い副反応軽減に寄与した1例	共著	2022年1月	漢方の臨床	新型コロナワクチンの副反応を軽減する漢方治療の論文である。ワクチンの副反応の発生率は高く、麻黄湯が有効である報告と解説である。 (当該論文のページ数:8 頁) (著者名: 光野彩子, 甲斐広久, 中島正光)
4 (著書) 救急/急性期・病棟での漢方薬剤剤の使い方	共著	2022年2月	薬事	著書全体の概要: 救急/急性期・病棟での漢方薬剤剤の使い方の特別増刊号である。気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患の漢方薬治療を解説した。 (総ページ数:270 頁) (著者名: 加藤雅之, 矢数芳英, 中島正光など)
5 (発表) 特別講演漢方薬による薬剤性肺炎(臨床薬剤師に思いを寄せて)	単著	2021年7月	日本薬学会第141年会	日本薬学会第 141 年会で特別講演を行った。我々が世界で初め紹介した漢方による薬剤性肺炎とその診断方法、また世界で初めて我々が開発した間質性肺炎に血清マーカーKL-6について述べ、さらに、薬剤師の臨床参加への期待と希望を述べた。
6 (著書) 日英対照 漢方用語辞書 The Dictionary of Kampo Medicine	共著	2020年5月	一般社団法人日本東洋医学会	著書全体の概要: 漢方の基本用語の最新和英辞典である。漢方の和英辞典はほとんどなく、日本東洋医学会により漢方の国際化に対応できるように出版した。英文論文を作成時に活用できると考えている。 (総ページ数:136頁) (著者名: 中島正光など12名)
7 (学術論文) 新型コロナウイルス肺炎に対する漢方治療案	単著	2020年6月	漢方の臨床	論文全体の概要: COVID19(新型コロナウイルス感染症)に対する漢方治療についてまとめた論文。過去のスペインかぜに使われ、大変有効であったとされる漢方を応用した、新型コロナウイルス感染症の治療を考え、考察した。 (総ページ数:7頁) (著者名: 中島正光) 担当部分: 単著
8 (著書) 間質性肺疾患診療マニュアル第3版	共著	2020年6月	南江堂	専門家が記載した間質性肺炎の診療マニュアルである。(総ページ数:489 頁) (著者名: 中島正光, 他95人) 担当部分の概要: 喫煙による急性呼吸不全を呈する急性好酸球性肺炎の臨床像(症状・所見・診断・治療)についてエキスパートとして解説した。 (担当ページ: pp459～461)

令和5年5月10日現在